



Chiba Reimei High School  
We'll present you  
50 books we recommend

## Recent Topics

2012年  
工 学 部 鈴鹿4時間耐久レース ソーラーカーレース 準優勝  
アーチェリー部 インターハイ 3年連続16回目出場  
陸上競技部 インターハイ 2種目2名出場  
ソフトテニス部 ハイスクールジャパンカップ 初出場

2011年  
工 学 部 鈴鹿4時間耐久レース ソーラーカーレース 3位  
アーチェリー部 インターハイ 2年連続15回目出場  
陸上競技部 インターハイ 3種目6名出場  
陸上競技部 国民体育大会 1種目1名出場  
吹奏楽部 東関東吹奏楽コンクール 3年連続出場  
吹奏楽部 日本管楽合奏コンテスト(全国大会) 出場  
ソフトテニス部 全国高等学校選抜大会 初出場

2010年  
工 学 部 鈴鹿4時間耐久レース ソーラーカーレース 準優勝  
工 学 部 秋田ワールドソーラーカー25時間ラリー 優勝  
空 手 道 部 関東大会 女子団体組手 5位  
アーチェリー部 インターハイ 14回目出場  
アーチェリー部 国民体育大会 出場  
陸上競技部 インターハイ 4種目5名出場  
陸上競技部 国民体育大会 1種目1名出場  
男子ソフトテニス部 関東大会初出場  
吹 奏 楽 部 東関東吹奏楽コンクール 2年連続出場  
吹 奏 楽 部 東日本学校吹奏楽コンクール(全国大会) 初出場

2009年  
工 学 部 鈴鹿4時間耐久レース ソーラーカーレース 優勝  
工 学 部 秋田ワールドソーラーカー25時間ラリー 優勝  
空 手 道 部 インターハイ 男子個人形 3位  
陸上競技部 インターハイ 女子100mハードル・女子槍投げ出場  
柔 道 部 関東大会初出場  
野 球 部 千葉県大会 ベスト8  
美 術 部 全国高等学校総合文化祭 参加  
吹 奏 楽 部 東関東吹奏楽コンクール 初出場  
吹 奏 楽 部 日本管楽合奏コンテスト(全国大会) 2年連続出場

Reimeiを  
見に行こう!!

詳しくは、Webの検索サイトで「千葉黎明」を入力して



千葉黎明高等学校

〒289-1115 千葉県八街市八街625番地  
TEL.043-443-3221(代表) FAX.043-443-3443  
ホームページアドレス <http://www.reimei.ac.jp/>

黎明が  
お薦めする

50冊

Vol.2

千葉黎明高等学校



学校法人 千葉黎明学園 理事長  
西村 清

「黎明がお薦めする 50 冊 VOL.2」  
発行にあたって

お蔭様で「黎明がお薦めする 50 冊」は第二号が発刊される運びとなりました。

これは創立 90 周年を迎える本校にとって、「文武両道」「師弟同行」をテーマとする教育理念の新たな展開としても価値あることと考えます。学校長の視点、図書部の先生方の推薦など高校生向きの推薦図書ではありますが、広く皆様にも知的生活の一助となる冊子であると信じております。朝の読書・校内感想文コンクールなど教育展開の中でも大切な国語の基本は、まず読むことと思います。

さて、本校の蔵書そのものの充実は、他校に比べまだまだであります。毎月数年にわたる図書の推薦はこれを補う部分もあるかと存じます。また長年にわたって本校図書室に図書の提供を行って頂いた 故 村林 達二様(東京都品川図書館関係者)、図書の充実へと高額なご寄付を頂いた広島在住の原 文枝様(元小学校教諭 今年 90 歳)には改めて紙上を借りて御礼申し上げる次第でございます。

私は乱読気味ではありましたが、数年前より成田市経営者協会の皆様との「声を出してよむ中国古典」の会も継続して参加させていただき、本来の読書の在り方を再認識すると共に精神の安定と少しでも教養を深めようと思っております。

「強くてしなやかで進歩する黎明高校」であるために基本の徹底は最重要と心得ます。

東日本大震災を乗り越えて、卒業生がその復興復旧の実行委員として日本再建をさらに成し遂げるには、この小さな冊子が知的財産として次の 100 周年に繋がるよう、皆様からのご指導、ご鞭撻を伏してお願ひ申し上げます。



ごあいさつ ..... P1  
もくじ ..... P2

校長お薦め

今日の風、なにに色? ..... P3  
のぶカンタビレ! ..... P3  
禅 シンプル生活のすすめ ..... P3  
上京物語~僕の人生を変えた、父の五つの教え~ ..... P4  
へこたれない ..... P4  
フリーター、家を買う。 ..... P5  
夏の庭 ..... P5  
みんなのなやみ ..... P6  
くらべない生き方  
(人生で本当に大切にすべき10のこと) ..... P6  
日本でいちばん大切にしたい会社 ..... P7  
千の風になったあなたへ贈る手紙 ..... P7  
小さな理由 ..... P8  
今ここにいるぼくらは ..... P8  
おくりびと ..... P9  
つばさものがたり ..... P9  
永遠の0(ゼロ) ..... P10  
だいじょうぶ3組 ..... P10  
夏を拾いに ..... P11  
くじけないで ..... P11  
僕らの青春一下町高校野球部物語 ..... P12  
つるかめ助産院 ..... P12  
はやぶさ、そうまでして君は ..... P13  
働く君に贈る25の言葉 ..... P13  
シューカツ! ..... P14  
成功は小さい努力の積み重ね ..... P14  
座右の銘1300 ..... P15  
野球にときめいて ..... P15  
寅さんに学ぶ日本人の「生き方」 ..... P16  
ヒルズ・エンド ..... P16  
プリンセス・トヨミ ..... P17  
日本の底力 ..... P17

図書部お薦め

THE LIFE STORY チャップリン  
アメリカと闘った天才道化師 ..... P18  
うつくしい子ども ..... P18  
半島へふたたび ..... P19  
砂糖の世界史 ..... P19  
いつもいいことさがし ..... P20  
神様のカルテ ..... P20  
自助論 ..... P21  
ナポレオン狂 ..... P21  
夢をかなえる「そうじ力」 ..... P22  
塩狩峠 ..... P22  
ハワイに伝わる癒しの秘法  
みんなが幸せになる ホ・オポノポノ ..... P23  
ゲゲゲの女房 ..... P23  
千葉県の歴史散歩 ..... P24  
一杯の歌 ..... P24  
鈍感力 ..... P25  
もし高校野球の女子マネージャーが  
ドラッカーの『マネジメント』を読んだら ..... P25  
99のなみだ ..... P26  
夢をつなぐ ..... P26  
ソウル・サーファー ..... P27  
結果を出し続けるために ..... P27  
あとがき ..... P28  
沿革 ..... P29

校長お薦め 09年7月

## 「今日の風、なに色?」「のぶカンタービレ!」

辻井 いつ子著



●アスコム

今、世の中は100年に1度と言われる大きな変化が起きています、3年生は、進学するにせよ、就職するにせよ、自分の将来について、しっかり考えて悔いの無い決定をして、進学や就職に向けてラストスパートして下さい。1、2年生も、次のステップへ向けた大事な時期です。今月は、第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで見事優勝した全盲のピアニスト辻井伸行さんのお母さんである辻井いつ子さんの著書で「今日の風、なに色?」(0歳~12歳)「のぶカンタービレ!」(13歳~19歳)を校長のお薦め本として紹介します。人は、普通大きな障害にぶつかると先ずその事実を拒否し、次に絶望し、やがて徐々に回復して行くというパターンを踏むと言われる。(本書より)この本の中では、全盲という大きな障害を母と子が、いろいろな人との出遭いと出遭った人達の温かい励ましを通じて克服し、最後には母と子の2人3脚で世界にはばたき、二人で楽しみながら生きてきた軌跡が分かり易く描かれています。皆さんも時に絶望を感じる時もあると思いますが、この本はそんな時の解決策のヒントを与えてくれると思います。私は、この本を読んだ後、辻井伸行さんの演奏する音楽を聞きましたが、さらに感動しました。

校長お薦め 09年9月

## 「禅 シンプル生活のすすめ」

枡野 敏明著

私は昨年来、「世の中は100年に一度しか起きないような大きな変化が起きており、不透明・不安定な時代である」と話してきました。このような状況の中では、私達は迷い、悩み、ストレスを感じるがあります。今月は、皆さんに心の疲れをリセットするヒントになればと思います。2006年のニュースウィーク日本版にて「世界が尊敬する100人」にも選出された枡野敏明の著書『禅 シンプル生活のすすめ』を校長のお薦め本として紹介します。著者は、この作品の中で、ちょっと「習慣」を変えるだけ、ちょっと「見方」を変えるだけでそれを禅的(シンプル)生活と言っています。心が軽くなり、体の底からじんわりと力が湧いてくると書いています。皆さんも、この作品を読んで、シンプル生活を体験して見て下さい。



●三笠書房

校長お薦め 09年10月

## 「上京物語 ~僕の人生を変えた、父の五つの教え~」

喜多川 泰著



●ディスカヴァー・トゥエンティワン

読書感想文ご苦労様でした。皆さんの読書感想文を読んで、皆さんがいろいろな種類の本を読んでいることが判りました。とても良いことだと思います。読書の季節にもなりましたので、引き続き興味をもった本から進んで読書するようにしてください。3年生の皆さんは進学・就職試験が本格化しました。1、2年生の皆さんも知らないうちに進学・就職を考えなくてはならない時期がやってきます。今月は、皆さんが人生のスタートラインで、『自分の生き方』に迷った時に参考になればと思い、喜多川泰の著書『上京物語~僕の人生を変えた、父の五つの教え~』を校長のお薦め本として紹介します。この本は、「一浪して東京の大学に入学の決まった息子を東京に送り出す際の息子に贈る手紙」という設定になっています。皆さんも主人公になったつもりで、この本を読んで見て下さい。何か新しい発見があると思います。

校長お薦め 09年11月

## 「へこたれない」

鎌田 實著

新型インフルエンザ大流行の中で、皆さんの協力のおかげで修学旅行、体育祭が無事終わりました。秋が深まってきたところで、読書習慣も始まりよいよ読書の季節です。さて10月の全校集会の中でお話したように読書は、先ずは自分の興味のある本から読み始めることがとても重要です。読書の習慣を身につけて欲しいと思います。今月は、困難な時代を生き抜く方法のヒントを与えてくれる、諏訪中央病院名誉院長鎌田實の著書『へこたれない』を校長のお薦め本として紹介します。現代は、大きな変化が起きており、とても生きにくい時代と言われています。著者は、つらいことや悲しいことがあった時、生きるのがいやになった時、『へこたれない』と口ずさんで見ようと述べています。私もこの本を読んで、勇気をもらいました。皆さんも、この本を読むことで、自分の内にある眠っている力をよみがえらせて下さい。



●PHP研究所

校長お薦め 09年12月

## 「フリーター、家を買う。」

有川 浩著



●幻冬舎

いよいよ今年も後1ヶ月となり、進学・就職、新しい学年が近づいてきます。さて、皆さんは、まだまだ大丈夫だと思っていて、結局間に合わず後悔したという経験をしたことはありませんか。今日は、後悔を背負って生きること、それを乗り越えることを描く、有川浩の著書『フリーター、家を買う。』を校長のお薦め本として紹介します。この本の中では、のんきなフリーターであった24歳の主人公が、母親の重度の病を知ったことをきっかけに崩壊しかかった家族の再生を家族（父親、母親、姉）との絆（きずな）を深めながら、それを乗り越える姿が描かれています。この本を読むと『最後まで諦めないこと』が、後悔を乗り越える一つの方法であることが分かります。

校長お薦め 10年1月

## 「夏の庭」

湯本 香樹実著

明けましておめでとうございます。いよいよ新しい年が始まりました。進学・就職、新しい学年に向けてしっかり準備をして下さい。さて、皆さんは『生きること』や『死ぬこと』について深く考えたことがありますか。現在の日本は少子高齢化社会となり、私たちの周りにはお年寄りが多い時代です。今日は、身近な人の死を通して子供たちが大人に成長していく様子が心に染みるエピソードを交えて描かれた湯本香樹実の著書『夏の庭』を校長のお薦め本として紹介します。この本の主人公は、3人の小学6年生と近所に住むおじいさんです。『死ぬ』ということに対する好奇心から始まった彼らの付き合いは、意外な展開となり、結末を迎えます。この本を読んで、皆さんも『生きること』『死ぬこと』について考えて欲しいと思います。新しい発見があると思います。



●新潮社

校長お薦め 10年2月

## 「みんなのなやみ」

重松 清著



●新潮社

新型インフルエンザが流行しています。体調に注意して下さい。三年生はいよいよ後一ヶ月で卒業し、一、二年生は後二ヶ月で進級となります。進学・就職、新しい学年に向けてしっかり準備をして下さい。さて、私達は日頃いろんなことで悩みます。悩むということでは、子供も大人も同じです。そういう意味では、生きるということは悩むことの繰り返しであるとも言えるのではないのでしょうか。今日は、私の好きな作家の一人で現代の家族を描くことを大きなテーマとし話題作を次々に発表している重松清の著書『みんなのなやみ』を校長のお薦め本として紹介します。この本は、十代を中心とした皆さんと同世代の人の家族、学校生活、友達、自分、親、おとななどに関わる『なやみ』に対して、著者が自分の経験に照らして、感想や考え方を述べています。皆さんの『なやみ』と似た話を見つかることができると思います。この本は、最初から読んでも良いですし、自分の関心のある項目のみ読んでも良い本です。自分の傍らにおいて、皆さんがこれからの人生を歩む中で、『なやみ』を持った時の自分のカウンセラーとして欲しいと思います。

校長お薦め 10年3月

## 「くらべない生き方(人生で本当に大切にすべき10のこと)」

鎌田 實著

私は、昨年来、卒業式も含め、世の中では大変な変化が起きており、生きづらい世の中であることをお話してきました。今日は、『生きることの意味』について書かれた大平光代、鎌田實共著『くらべない生き方(人生で本当に大切にすべき10のこと)』を校長のお薦め本として紹介します。この本は、大平光代さん(弁護士として活躍し、大阪市助役を努めた後、ダウン症で生まれた娘さんを山里で子育て中)と鎌田實さん(長野県の諏訪中央病院にて患者の心のケアと地域医療に従事)が、生きづらさを感じている多くの人たちに、ホンの少しのヒントを与えるために『困難な時代を生き抜く10の対話』を展開しています。この本は、最初から読んでも良いですし、自分の関心のある項目のみ読んでも良いですが、「疲れ果てて座り込むときの椅子代わり」(鎌田實さんの後書きより)になると思います。自分の傍らにおいて、皆さんがこれからの人生を歩む中で、『なやみ』を持った時の自分のカウンセラーとして欲しいと思います。

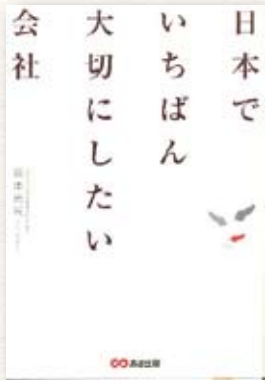


●中央論新社

校長お薦め 10年4月

## 「日本でいちばん大切にしたい会社」

坂本 光康著



●あざ出版

新入生の皆さん入学おめでとうございます。また2年生、3年生の皆さんも新年度が始まり、新たな『夢や目標』を持って、スタートラインに立っていることと思います。今月の校長のお薦め本は、真に世のため人のためになる経営に懸命に取り組んでいる価値ある企業について紹介された坂本光康著『日本でいちばん大切にしたい会社』です。この本は、筆者が研究した6,000社の中から14社を選び紹介しています。私も知らない会社ばかりでしたが、もう一度人生をやり直すことが出来るならば、就職したいと思う魅力ある会社ばかりでした。この本は、会社とはどうあるべきか、何のためにあるのか、会社が提供する心から感動するサービスとは何かを考えるきっかけになります。近い将来、皆さんの多くは、何らか形で会社と係わり合いを持ちます。自分の会社選びなどの参考になります。是非読んでいただきたい1冊です。

校長お薦め 10年6月

## 「小さな理由」

森 浩美著



●双葉社

球技大会も終わり、今月は大きな行事も無く、落ち着いた環境の中で、学習面や読書に集中して下さい。三年生はいよいよ三者面談が始まり、進路決定のラストスパートに入ります。今月の校長のお薦め本は、『家族』をテーマの中心にした短編集・森浩美著『小さな理由』を紹介します。この本は、いろいろな家族の話をもとに編みだされています。著者は『端から見れば取るに足らない理由かも知れない。でも、その小さな理由がなければ、人は生きていけない。』（本書冒頭より）と述べています。家族にとって、人間にとって、生きて行く為の『小さな理由』が書かれています。身近で、日常におこる些細な出来事が描かれ、大人の話となっていますが、お父さんやお母さんが皆さんや家族をどのような思いで考えているかを理解できるきっかけになると思います。

校長お薦め 10年5月

## 「千の風になったあなたへ贈る手紙」

『千の風』手紙プロジェクト編

新学期始業式、入学式から、早くも1ヶ月が過ぎようとしています。毎年この時期になると、急に元気が無くなり、学習や課外活動への意欲や関心を失いそうになる人が出てくるようです。今月は、そんな時に、『元気と勇気』を与えてくれる本として、『千の風』手紙プロジェクト編『千の風になったあなたへ贈る手紙』を校長のお薦め本として紹介します。皆さんは『千の風になって』という歌を知っていると思いますが、この本は、『千の風になったあなたへ贈る手紙』に寄せられた手紙5,056編の中から選ばれた153編が収録されています。大切な人を亡くした悲しみは大きいですが、その死を乗り越えて、再び前を向いて歩き出そうとする人たちの体験が書かれています。いのち、家族、生き方について考えるきっかけになると思います。（本書『はじめに』より）この本を読んで、私も3年前に亡くした父親に手紙を書きたくくなりました。



●朝日新聞出版

校長お薦め 10年7月

## 「今ここにいるぼくらは」

川端裕人著

7月に入りました。期末試験が終わるといよいよ長い夏休みですね。3年生は、3者面談も終わり、進学するにせよ、就職するにせよ、自分の将来の目標が定まったと思います。今月は夏休みに入ることもあり2冊紹介します。一冊目は、川端裕人著『今ここにいるぼくらは』の文庫本を校長のお薦め本として紹介します。小学生の主人公が「動物と人間の死や未知なるものとの出会い」を通じて成長していく姿と「自分の居場所探し」をしていく姿が描かれています。私は、この本を読んで約50年前にタイムスリップした思いがしました。皆さんも、懐かしい時代を再体験して下さい。



●集英社

校長のお薦め 10年7月

## 『おくりびと』

白戸ふみか著



2冊目は、小山薫堂原作白戸ふみか著『おくりびと 第2章』の文庫本を紹介します。米アカデミー賞外国語映画賞を受賞し日本中を感動の渦に巻き込んだ映画『おくりびと』の7年後の物語を小説にしたものです。納棺師(天国に旅立つ人を最後に美しく送ってあげるお手伝いをする人…本文より)である主人公の幸せな家族そのものに思えた家庭に突然起きた事件を通じて、生きること、死ぬこと、家族、親子について考えさせられます。また、DVDなどでこの映画を見ることもお薦めします。皆さんもきっと感動すると思います。

●小学館

校長のお薦め 10年9月

## 『つばさものがたり』

雫井 脩介著

長い夏休みが終わりました。休みモードから学校モードにしっかり切り替えて下さい。3年生の皆さんはよいよ進路決定の時期となりました。悔いのない進路活動をして下さい。さて、私は始業式の訓話の中で、『感動することの大切さ』についてお話ししました。今月は、私が夏休み中に読んだ本の中で、特に感動した1冊、雫井脩介の著書『つばさものがたり』を校長のお薦め本として紹介します。この作品は、君川小麦(26歳)という女性の主人公が、重い病気と戦いながら家族の愛と“天使の愛”に助けられながら、自分の夢(ケーキ屋開店)を実現していく姿が明るく描かれています。長編小説ですが、一気に読んでしまいました。この本を読んで、私の周りにも“天使”がいるのではないかと思う気持ちになりました。



●小学館

校長お薦め 10年10月

## 『永遠の0(ゼロ)』

百田 尚樹著



読書感想文ご苦労さまでした。今月は読書の季節にもなりましたので、百田尚樹著『永遠の0(ゼロ)』、乙武洋匡著『だいじょうぶ3組』2冊を校長のお薦め本として紹介します。1冊目は、全校集会の訓話の中でも紹介しましたが、太平洋戦争で活躍したゼロ式戦闘機の物語りで、戦争を体験したことのない私を60年以上も過去にタイムスリップし、『太平洋戦争とはどんな戦争でどのような経過をたどったのか』『この戦争に巻き込まれた日本人はどのように生きたのか』といったことを分かり易く物語の中にちりばめ、『戦争の悲惨さ』『平和の大切さ』『命の大切さ』を再認識させてくれました。とても感動しました。長編ですが、戦争を知らない皆さんに是非読んで欲しいと思います。

●講談社

校長お薦め 10年10月

## 『だいじょうぶ3組』

乙武 洋匡著

2冊目は、大ベストセラー『五体不満足』の著者である乙武洋匡さんの3年間の教員体験から生まれた初めての小説です。杉並区の小学校の中で起きる様々な問題を乙武さん流の考え方で解決していきます。乙武さんがこの小説の中で伝えたかったのは「みんなちがっていい、みんないい」ということです。楽しく読める小説です。



●講談社

校長お薦め 10年12月

## 「僕らの青春一下町高校野球部物語」

半村 良著



●河出書房新社

いよいよ今年も後1ヶ月となり、進学・就職、新しい学年が近づいてきます。さて、本校は『文武両道』という教育方針の下、皆さんには、部活動に自由に一杯取り組んでいただいています。部活動を自由にできない状況を考えてみたことがありますか。今月は、進学校で大学受験のため、事実上部活動を制限されている東京都の公立高校を舞台にした野球部員の姿を描く、半村良の著書『僕らの青春 一下町高校野球部物語』を校長のお薦め本として紹介します。この本は、野球好きの生徒達がいろんな障害を乗り越え、野球部を復活させ、最後に夢を叶えるストーリーです。『青春のおとぎばなし』(作者のコメント)です。野球部中心の話ですが、野球を知らない人にも、『悔いのない青春時代の過ごし方』のヒントを知る意味で、とても参考になります。

校長お薦め 10年11月

## 「夏を拾いに」

森 浩美著



●双葉社

季節はずれの台風14号の影響で、残念ながら体育祭は順延、中止となり『大縄飛び』に縮小されました。余ったエネルギーは学園祭に向けて下さい。さて、秋が深まって来たところで、読書週間も始まりいよいよ読書の季節たけなわです。読書の習慣を身につけて欲しいと思います。今月も森浩美著『夏を拾いに』、柴田トヨ『くじけないで』2冊を校長のお薦め本として紹介します。1冊目は、40年前の少年が持っていた'ワクワク'(子供時代のきらめく思い出)を、父親が回想して息子に語り継ぐ物語です。この物語は、「友情、家族の絆、親子の絆の大切さ」を教えてください。長編ですが、とても楽しく読むことが出来ます。昭和40年代に子供時代を送った私にはとても懐かしく感じられました。

校長お薦め 10年11月

## 「くじけないで」

柴田 トヨ著

2冊目は、一人暮らし20年、今年99歳になる柴田トヨさんの詩集(処女作品集)です。42編の詩が掲載されていますが、30分位でさっと読むことができます。そして、いい風に吹かれたみたいになさやかな気分になります。現代は、大きな変化が起きており、とても生きにくい時代と言われています。皆さんもこの本から「一日一日の心の糧(かて)」を手に入れて下さい。私は42編の詩の中では、「貯金」という詩がとても気に入りました。



●本飛鳥新社

校長お薦め 11年1月

## 「つるかめ助産院」

小川 糸著

明けましておめでとうございます。いよいよ新しい年が始まりました。進学・就職、新しい学年に向けてしっかり準備して下さい。さて、皆さんは『人間の誕生』について深く考えたことがありますか。今月は『食堂かたつむり』の著者小川糸の著書『つるかめ助産院』を校長のお薦め本として紹介します。この本は、主人公が突然失踪した夫を探しに訪れたある南の島の『助産院』を舞台に、主人公やそこで働き、島で生活するそれぞれ辛い過去を持った人々が、主人公の出産を通じて、『人間の誕生』や『人生の再生』について、悩みながら、考え、成長して行く姿をわかりやすく描いています。私は、2人の息子がいますが、出産には立ち会っておらず、この本を読んで、初めて教えられたこともあり、また『親子・家族の絆』『人間の神秘性』などいろいろなことを考えさせられました。この本を読んで、皆さんも『今自分がここにいること、生きることの重み、奇跡、素晴らしさ』について考えて欲しいと思います。新しい発見があると思います。



●集英社

校長お薦め 11年4月

## 「シューカツ！」

石田 衣良著



● 文藝春秋

終業式の訓話の中で、今私達にできることは、被災地の人達を思い続け、具体的な行動をすることだとお話ししました。皆さんは、それぞれ自分のできることをしてくれたと思います。終業式以降で具体的な動きとして私の目に映ったものが2つあります。一つは、終業式終了後すぐに皆さんが協力してくれた募金活動です。二つ目は、3月31日に行われた吹奏楽部のチャリティコンサートを兼ねた定期演奏会での募金活動です。ご協力ありがとうございました。新入生の皆さん入学おめでとうございます。また2年生、3年生の皆さんも新年度が始まり、新たな「夢や目標」を持って、スタートラインに立っていることと思います。さて、皆さんの多くは、近い将来何らかの形で就職活動をするようになります。今月は、大学3年生7人の就職活動(シューカツ)を巡る悲喜こもごもを描いた石田衣良著書「シューカツ！」を校長のお薦め本として紹介します。この本は、テレビ、出版、新聞など人気の高いマスコミ志望の7人の大学生がシューカツプロジェクトを結成し、就職活動を通じて直面する驚きや当惑、逡巡や興奮、強気と弱気が描かれています。この本の中では「働く」ということの真の意味・厳しさ「就職活動の厳しさ」「就職活動で成功するために何が大切か」「面接において大切なこと」などがとても興味深く分りやすく描かれており、理解できると思います。自分の将来の会社選びなどの参考にもなります。是非読んでいただきたい1冊です。

校長お薦め 11年5月

## 「成功は小さい努力の積み重ね」

江口 克彦著



● PHP 研究所

東日本大震災から1ヶ月半が過ぎましたが、震災の影響はその後も亡くなられた方が増えていること、余震の継続発生、原発事故の影響拡大、被災者救済・被災地の復興問題など拡大の一途を辿っています。もう一度世界で最も安全、安心して美しい国をつくるには、皆さんのような若い人たちの力が必要です。今月は、厳しい社会を生きて行く上で皆さんの役に立つ本を2冊校長のお薦め本として紹介します。1冊目は、江口克彦著「成功は小さい努力の積み重ね」です。この本は、一緒に仕事をされた著者が松下幸之助(パナソニックを一代で築き上げた世界を代表する経営者・実業家で三千以上の「名言」を残しています)の「名言」を読み解いたものです。『成功するための方法』『自分を磨くための方法』『仕事とは何か』『会社とは何か』『人とは何か』について分りやすく書かれています。

校長お薦め 11年2月

## 「はやぶさ、そうまでして君は」

川口 淳一郎著



● 宝島社

三年生はいよいよ後一ヶ月で卒業し、一・二年生は後二ヶ月で進級となります。進学・就職、新しい学年に向けてしっかり準備をして下さい。さて、今月は、7年間、60億キロメートルに及ぶ航海を終え地球に帰還し小惑星「イトカワ」からサンプルを持ち帰った「はやぶさ」の生みの親・宇宙航空研究開発機構教授川口淳一郎著「はやぶさ、そうまでして君は」を校長のお薦め本として紹介します。この本は、人類初の快挙で、日本の宇宙開発の歴史を変えた、前人未踏のプロジェクトの秘話がかさしく感動的に描かれています。今回のプロジェクトに関わった人達は、歓喜と落胆、希望と絶望、驚嘆と消沈を感じながら、様々な出来事乗り越えて行きます。私はニュースを聞いてとても素晴らしい出来事だと思いましたが、この本を読んで初めてこのプロジェクトの偉大さ、関係者の努力・情熱、日本人の素晴らしさに改めて感動しました。この本の中で、著者は「未体験の状況に置かれた時、それを面白いと思うか、前例がなく不安と思うかで、全く別の結果がでるでしょう」と言っています。皆さんがこれから人生を生きて行く上でとても参考になると思います。

校長お薦め 11年3月

## 「働く君に贈る 25 の言葉」

佐々木 常夫著

いよいよ後一ヶ月で進級となります。新しい学年に向けてしっかり準備をして下さい。さて、今月は「働くこと」「生きること」について書かれた元東レ経営研究所社長佐々木常夫著「働く君に贈る25の言葉」を校長のお薦め本として紹介します。この本は、社会人になっただけの甥「遼君」に向けた手紙という形で構成されています。皆さんも近い将来、社会に出て働くこととなります。「社会で働く」ということはどういうことか、「人は何のために生きるのか」「どう生きるべきか」「そのためにはどんな準備が必要か」について、わかりやすく書かれています。また、「仕事」という言葉を「学校生活」という言葉に置き換えて読むと現在の皆さんへのメッセージにもなります。著者が人生の中でつかみ取ってきた、幸せに働き、幸せに生きるための「エッセンス」がまとめられています。自分の傍らにおいて、皆さんがこれからの人生を歩む中で、「なやみ」を持った時の自分のカウンセラーとして欲しいと思います。



● WAVE 出版



校長お薦め 11年5月

## 「座右の銘 1300」

別冊宝島編集部編著



●宝島社

2冊目は、別冊宝島編集部編著『座右の銘 1300』です。この本には、偉人、賢人が遺した珠玉の「名言」が掲載されています。自分の生き方に合った「名言」を探し、人生の指針として下さい。

校長お薦め 11年6月

## 「野球にときめいて」

王 貞治著

今月は、王貞治著『野球にときめいて』を校長のお薦め本として紹介します。王貞治といえば、私の人生の中では、長嶋茂雄と並ぶヒーローでした。1本足打法を生み出し、1977年に大リーグのハンクアーロンの記録を抜く通算756本のホームランを打ち、第1回国民栄誉賞を受賞。福岡ダイエーホークス（現ソフトバンクホークス）を率いてリーグ優勝3回、日本一2回。2006年にはWBC日本代表監督として、日本チームを初代世界一へと導きました。この本の中では、素晴らしい実績を残された裏側で、様々な経験（悲しかったり、苦しかったり、辛かったり）を、不思議な力に導かれ、ひたすら歩まれ続けた71年間の軌跡が描かれています。著者は、本の中で『人生の節目では、いつも何か不思議な力が僕を導いてくれたように思える』と述べています。私も含め皆さんの人生においても、『不思議な力』は現れると思います。そして、『不思議な力』を大切にしたいと思います。先ず、この本を読んで、著者の人生の「不思議な力」を体験して下さい。

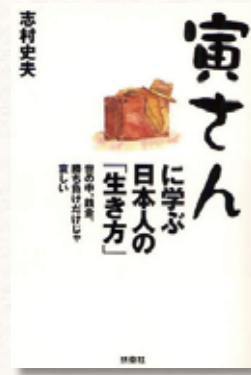


●中央公論新社

校長お薦め 11年7月

## 「寅さんに学ぶ日本人の「生き方」」

志村 史夫著



●扶桑社

いよいよ長い夏休みですね。今年は日本全体で節電電力が行われます。皆さんも協力をお願いします。3年生は、3者面談も終わり、進学するにせよ、就職するにせよ、自分の将来の目標が定まったと思います。目標に向けてサポートして下さい。1、2年生も、次のステップへ向けた大事な時期です。9月になって後悔しないように、規則正しい生活を維持しましょう。今月は夏休みに入ることもあり、志村史夫著『寅さんに学ぶ日本人の「生き方」』、アイバン・サウスオール著小野章訳『ヒルズ・エンド』の2冊を校長のお薦め本として紹介します。1冊目は、映画『男はつらいよ』の主人公寅次郎（くるまろじろう・「フーテンの寅さん」）の中に、現在失われつつある日本人の「未来の生き方」について学ぶべき点があると著者の考え方が映画の場面を紹介しながら、分かりやすく、興味深く書かれています。この映画は、皆さんにはあまり馴染みがないかもしれませんが、48作まで続きギネスブックにも登録された世界映画史上最長のシリーズ映画です。私はこの映画がとても好きで、48作全作品を見ました。私の生き方の原点の一つです。本書後半では、「何の為に学ぶのか」という問いに対する寅さんの明確な答えも紹介されています。皆さんも、『本来の日本人の生き方』に触れて欲しいと思います。また、興味があれば、一度ビデオ・DVDで映画を見ることもお薦めします。

校長お薦め 11年7月

## 「ヒルズ・エンド」

アイバン・サウスオール著 小野 章訳

2冊目は、猛烈な台風我突然襲われた山奥の小さな材木の村に取り残された先生と7人の子供達が廃墟の中で、大人達が戻ってくるまでの数日間を描いた物語です。次々に襲いかかってくる危険や困難を、子供達がぶつかり合いながら、乗り越えていきます。私達も3月11日の東日本大震災をいろいろな形で経験し、災害の怖さを知りました。本書後半では、危険や困難に襲われた時に何が大切であるかを読者に教えてくれます。皆さんが7人の子供達の1人になったつもりで読んでみて下さい。



●評論社

校長お薦め 11年9月

## 「プリンセス・トヨトミ」

万城目 学著



●文藝春秋

暑く、長い夏休みが終わりました。休みモードから学校モードにしっかり切り替えて下さい。3年生の皆さんはいよいよ進路決定の時期となりました。悔いのない進路活動をして下さい。さて、私は終業式の訓話の中で、夏休み中に読書をするをお願いしましたが、興味のある本が見つかりましたか。今月は、私が夏休み中に読んだ本の中で、特に興味を持った万城目学著『プリンセス・トヨトミ』(文庫)、ロム・インターナショナル著『日本の底力』(新書)の2冊を校長のお薦め本として紹介します。1冊目は、日常の中に異質なものが紛れ込む、というユニークな設定が大きな魅力である『万城目作品』です。豊臣秀吉や大阪城の史実に基づきつつ、人々の地元愛、親子の絆といった『人のこころ』が起こす奇跡が描かれています。SF、時代小説、歴史小説が好きな人に向いています。私は、歴史が好きで、また大阪に4年半住んでいたこともあり、とても興味深く読みました。また、文庫本として、532ページという長編は初めての経験でした。皆さんも是非長編にチャレンジしてみてください。

校長お薦め 11年9月

## 「日本の底力」

ロム・インターナショナル著

2冊目は、東日本大震災という日本歴史上最大級の国難の中、技術力、社会制度、伝統文化、人間力など『日本の底力』を分かりやすく紹介したもので、私達に『自信と勇氣』を与えてくれます。日本は今、未曾有の危機に直面し、美しく、安全な日本の復興に向けて、様々な分野で国民が丸となって動いています。この本を読んで世界が目を見張る『誇れるもの』を再確認して、私達も復興の一翼を担い、早期復興に何らかの形で貢献しましょう。



●河出書房新社

図書部のお薦め 09年7月

## 「THE LIFE STORY チャップリン アメリカと闘った天才道化師」

福川 肅著



●リクルート

今月の図書部お薦め本は、福川肅著『THE LIFE STORY チャップリン アメリカと闘った天才道化師』です。世界の喜劇王といえば、誰もがチャールズ・チャップリンを思い浮かべることでしょ。貧民院で育ち、ハリウッドで夢を実現したチャップリン。世界中が放浪紳士の姿に笑い、そして泣きました。しかし、結婚に失敗するたびにマスコミに叩かれ、赤狩りに同調しなかったため、 коммуニストと呼ばれたこともありました。当時の政府に都合の悪かった「殺人狂時代」は自由の国であったはずのアメリカ各地で上映禁止にさえなりました。そしてアメリカは彼を20年間、国外追放にしたのでした。歴史が生んだ知られざる喜劇王の素顔に迫るライフ・ストーリーです。

図書部のお薦め 09年9月

## 「うつくしい子ども」

石田 衣良著

今月の図書部お薦め本は、石田衣良さんの『うつくしい子ども』です。物語はある殺人事件の犯人が主人公の弟だということから始まります。自分よりも美しく、大人に可愛がられる弟は、なぜ人を殺したのだろうか? 14歳の主人公がその疑問を追求していく作品です。うらかな春の朝、事件をきっかけに崩壊する家族、変質する地域社会、沈黙を守る学校、さまざまな問題に直面しながらも、主人公の少年は自分の信念をつらぬき、加害者の兄という孤独と戦います。その孤独が少年を成長させ、新たな友情を育みます。誰もが抱く理想と現実、本当に「うつくしい子ども」とは、どんな子どもなのか? 大人とも子どもともいえる皆さんに、是非読んで欲しい作品です。また、主人公と事件を追う記者の二つの視点から物語が展開していくのも面白さの一つです。人間が持っている「弱さ」や「脆さ」、そして何よりも「強さ」を感じることができると思います。是非一度、図書館に足を運んで手にとってみてください。



●文藝春秋

図書部のお薦め 09年10月

## 「半島へふたたび」

蓮池 薫著



●新潮社

今月の図書部お薦め本は、拉致被害者蓮池薫さんの手記『半島へふたたび』です。難しい箇所もありますが、比較的すんなり読める本です。帰国後初めて朝鮮半島に渡り、北でのつらい暮らしを思い出したり、韓国ならではの習慣に触れる内容で構成されています。帰国以後、しっかりとした職に就き、地に足をつけて暮らしたいと感じた蓮池さんは大学の先生から通訳、翻訳家、作家をめざしていきます。52歳の蓮池さんですがいつでも夢を忘れないバイタリティ溢れる生き様に読者は共感せずにはいられません。「強さ」を感じることができると思います。是非一度、図書館に足を運んで手にとってみてください。

図書部のお薦め 09年12月

## 「いつもいいことがし」

細谷 亮太著



●暮しの手帖社

千葉黎明高校始まって以来の学級・学年閉鎖を余儀なくさせた今年のインフルエンザ。患者の辛さもさることながら、医療現場の多忙さも私たちの想像を絶するものがあるでしょう。都内のある女性小児科医によると、午前の受付だけで80人を越える日もあるそうです。今月は、ある小児科医（聖路加国際病院副院長 細谷亮太）の著書『いつもいいことがし』をお薦めします。病名とその説明を子どもに伝える時の三原則があるそうです。それは、「嘘をつかない、わかりやすく、そして子どもの立場に立って」。読み進めていくうちに、これは人と向き合う時の三原則に思えてきます。さまざまな事例の中に難解な言葉や表現がないのもこの本の魅力です。ぜひ、手にとってページをめくってみてください。

図書部のお薦め 09年11月

## 「砂糖の世界史」

川北 稔著

今月の図書部お薦め本は、川北稔著『砂糖の世界史』です。食欲の秋ですが、今ではあたりまえの食材である砂糖について、その砂糖が大量生産されるようになった理由と社会的・歴史的プロセスを、豊富なエピソードをもとに紹介した楽しい一冊です。砂糖がいかにしてヨーロッパに入り、大量生産して世界中に売れる「世界商品」としてブランテーションで生産されるようになったのか。また普及の過程で、他の世界商品であるコーヒーや茶、チョコレートなどいかに出会い、それぞれの国でどのように普及したのか。そして、各国の現在の文化に、どのように砂糖が影響したのかを解説されています。また当時の三角貿易など世界史学習の上でも大変参考になる本です。



●岩波書店

図書部のお薦め 10年1月

## 「神様のカルテ」

夏川 草介著

今月、図書部がお薦めするのは、夏川草介の『神様のカルテ』です。こんなふうには患者のことを考えてくれるお医者さんが、そばにいてくれたら…。神の手を持つ医者はいなくても、この病院では奇跡が起きる。夏目漱石を敬愛し、ハルさんを愛する青年は、信州にある『24時間、365日対応』の病院で今日も勤務中！ 医者は患者を、患者は医者进行を想い合い、そこから生まれる医療こそ（最終的な結果がどうであれ）お互い納得できるものではないでしょうか。人の命の重さと人の死を心で知っている著者によって書かれた、心が洗われるような一冊です。



●小学館

図書部のお薦め 10年2月

## 「自助論」

S・スマイルズ著 竹内 均訳



●三笠書房

今月図書部がお薦めする本は、S・スマイルズ著、竹内均訳の『自助論』です。この本は明治4年(西暦1871年)、『西国立志編』と題してその日本語訳が出版されました。その後、福沢諭吉の『学問のすすめ』と並んで明治の青年たちによって広く読まれ、当時の日本で総計100万部ほど売れたと言われています。そして現在でも著名な学者が翻訳本を出版し、版を重ねています。「天は自ら助くる者を助く」の言葉の通り、自助とは自分で自分を助けようとする精神のことです。この本には努力や勤勉に働くことの大切さなど、自分で自分を助ける方法が具体的に書かれてあります。若い皆さんの『心』がさらに元気になる1冊です。

図書部のお薦め 10年4月

## 「夢をかなえる「そうじ力」」

舛田 光洋著



●総合法令出版

今月の図書部のお薦め本は舛田光洋著『夢をかなえる「そうじ力」』です。皆さんに親しみのある東京ディズニーランド。この『夢の国』を陰ながら支えているのはカストーディアルと呼ばれる清掃スタッフです。この人たちは自分のエリアを15分毎に回って徹底的にキレイな空間を作り出しています。私たちが想像する『夢の国』に共通していることは恐らく『キレイな空間』であるということでしょう。ディズニーランドはこのことを実践しているのです。また、ディズニーランドが『夢の国』なら私たちの千葉黎明高校は『夢を育む場所』と言えましょう。「夢を育む自分達の学校を隅々まできれいに掃除すれば夢に近づく生徒が増える。」そう強く感じさせてくれた1冊です。

図書部のお薦め 10年3月

## 「ナポレオン狂」

阿刀田 高著

今月の図書部お薦め本は、阿刀田高著『ナポレオン狂』(講談社)です。この本は、短編の名手として名高い作者の三十年前の処女作品集です。作者は、十三の短編のうち表題作の「ナポレオン狂」で直木賞を受賞し、文壇にデビューしました。フランスの英雄ナポレオンにとりつかれた二人の男の数奇な運命が、読者を不思議な世界に誘います。また日本推理作家協会賞を受賞した「来訪者」では、日常の中にある善意と悪意が鋭い切り口で反転していく様が語られ、読後に深い印象と余韻が残ります。なにげない日常の中にある非日常……あなたのちょっとした日常のズレの中にも、不思議への入り口があるかもしれません。



●講談社

図書部のお薦め 10年5月

## 「塩狩峠」

三浦 綾子著

三浦綾子の『塩狩峠』が今月のお薦め本です。明治末年、北海道旭川の塩狩峠で乗客の命を救うため、自らを犠牲にした一青年の愛と信仰に貫かれた生涯をたどり、人間存在の意味を問う。実在のモデルをえて、追真の筆致で描かれています。主人公が鉄道職員として、人命救助のため殉職の死を遂げたことはいかに多くの人に大きな感銘を与えたことでしょうか。実在のモデルの人柄を思うと深く激しい感動を受けました。



●新潮社

図書部のお薦め 10年6月

## 「ハワイに伝わる癒しの秘法 みんなが幸せになるホ・オポポノ」

イハレアカラ・ヒューレン著



●徳間書店

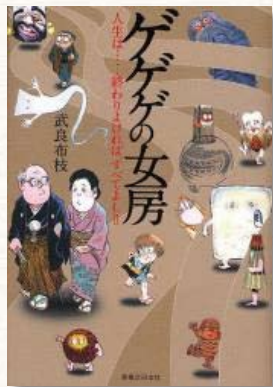
イハレアカラ・ヒューレン著『ハワイに伝わる癒しの秘法 みんなが幸せになる ホ・オポポノ』が今月のお薦めです。1年生の宿泊研修の二日目、伊勢修養センター所長武田数宏先生の講話の中でハワイ語「ホ・オポポノ」という言葉が紹介されました。聞くと、この言葉には人を幸せに導く力があるのだとか。著者ヒューレン氏によると、私たちを取り巻く障害や苦悩は自己の記憶から生まれているのだそうです。自己の潜在意識の中の記憶を消去することを「クリーニング」と言い、そのクリーニングを行なうことで本来の生き方、豊かさ、幸せを取り戻すことができる方法が「ホ・オポポノ」。さて、そのクリーニングってどうやると思いますか？まるで奇跡のような方法ですが、ぜひこの本を手にとってページを開けてみてください。ある4つの言葉に出会うだけで心が豊かに明るくなり、幸せがすぐそこまで来ているような気がすることでしょ。

図書部のお薦め 10年7月

## 「ゲゲゲの女房」

武良布枝著

今月の図書部のお薦め本は『ゲゲゲの鬼太郎』の作者である水木しげる氏を妻として陰で支えた武良布枝さんの著書『ゲゲゲの女房』です。NHKの朝の連続ドラマを見て知っている人も多いでしょう。この本が良い原作となっているため、ドラマの人気はかなり高いようです。『ゲゲゲの鬼太郎』という名作が生まれる裏で「こんな努力があったなんて」と驚くばかりで、すぐに読みきれぬ作品です。図書室にありますので是非借りて読んでみてください。



●実業之日本社

図書部のお薦め 10年9月

## 「千葉県の歴史散歩」

千葉県高等学校教育研究会歴史部会編



●山川出版社

『千葉県の歴史散歩』(千葉県高等学校教育研究会歴史部会編)が図書部お薦め本です。この本には千葉県内の史跡や文化財を実際に見て回れるように住所や交通機関、地図が掲載されています。また、文化財公開施設や年表なども充実しており、千葉県の歴史を学ぶには最適です。県都となった千葉市、九十九里の海辺、川にはくまれた東葛飾、内海に開かれた印旛、香取の海と北総台地、長生の夷隅の山と海など、魅力的な千葉県の歴史を学ぶことができます。

図書部のお薦め 10年10月

## 「一杯の歌」

内海 隆一郎著

今月の図書部お薦め本は、『一杯の歌』(内海隆一郎著)です。この本には、スポーツが織りなす人々のドラマが二十篇詰められています。野球・ボクシング・陸上・バスケットボール・テニス・バレーボール・水泳・サッカー・柔道・スキー・登山・相撲・マラソン……等々。皆さんの中にも部活動などでこれらのスポーツに親しんでいる人は多いと思います。ここまで読んで「よくあるスポーツ系の小説だな」と感じたあなた、この本はちょっと違います。帯に「遙かなる勝関(エール)……ゲームセットから始まる人生」とあるように、これは現役選手によるスポーツ・サクセス・ストーリーではありません。人生のある時期に触れたスポーツとのかかわりが、その後の生涯の折々の場面で深い意味を持って立ち上がってくるといった内容です。「スポーツ経験」は現役の時を終えても、その後の長い人生に時に宿命的に、時に暗示的に、時に示唆的に関わっているものなのです。



●文藝春秋

図書部のお薦め 10年11月

## 「鈍感力」

渡辺 淳一著



●集英社

今月の図書部お薦め本は、渡辺淳一著書の『鈍感力』（集英社）です。『鈍感力』という言葉は、2007年2月、当時の総理大臣だった小泉純一郎氏が官房長官や幹事長に「目先のことに鈍感になれ、『鈍感力』が大事である。支持率が上がったりが下がりたりするのをいちいち気にかけるな。」と述べたことが新聞各紙に報じられ注目されました。世間では一般的に、「鈍い」ということは、あきらかに否定的な意味として受け取られていることの方が多いと思います。ところが、筆者は逆の発想から「鈍感さ」こそが本来の才能を大きく育み、花咲かせる最大の力となると言っています。また、様々な世界で成功をおさめた人々は、才能はもちろん、その根底には必ずいい意味での『鈍感力』を秘めているとも言っています。この本をきっかけに、皆さんもいい意味での『鈍感力』を考えてみてはいかがでしょうか。

図書部のお薦め 10年12月

## 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」

岩崎 夏海著

今月の図書部お薦め本は、岩崎夏海著『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』です。テレビでも紹介され、今売れに売れているというこの本を早速購入しました。この長いタイトルにある「高校野球の女子マネージャー」は分かるとはありますが、「『ドラッカーやマネジメント』って何だろう」と、少し違和感を感じますよね？でも大丈夫。表紙とその次のページのイラストを見れば「なんだか面白そう！」「読んでみよう！」という気持ちになりますよ。（イラスト担当ゆきうさぎさん）主人公のみなみ（高2）は、夏休み前にふとしたことから野球部にマネージャーとして入部します。と同時にみなみは一つの目標を掲げたのです。その目標とはもちろん、「甲子園」。みなみの勉強は「マネージャーって何をすることなんだろう？」という疑問から始まりました。そこで本屋で見つけたのが世界最強の経営学者ドラッカーが書いた『マネジメント』という本だったんですね。まさに運命的な出会いともいえます。みなみと他のマネージャー、そして野球部の仲間と監督が、ドラッカーの教えをもとにお互いぶつかり合いながら力を合わせて甲子園を目指す青春物語です。



●ダイヤモンド社

図書部のお薦め 11年1月

## 「99のなみだ」

リンダブックス編集部／編著



●泰文堂

今月の図書部のお薦め本は、リンダブックス編集部の99のなみだシリーズから『99のなみだ 花』『99のなみだ 雲』を紹介します。これらは、読者の感動体験を元にした短編小説集であり、あたたかな涙が止まらない珠玉の物語が詰まっています。きっと、あなたも勇気がわいてきたり、やさしい気持ちになれるはずです。

図書部のお薦め 11年2月

## 「夢をつなぐ」

山崎 直子著

今月の図書部のお薦め本は、スペースシャトルに搭乗する最後の日本人宇宙飛行士となった山崎直子さんの著書『夢をつなぐ』です。千葉県出身の山崎さんは、お茶の水女子大附属高校から東京大学、1年間の留学の後、東大大学院に学び、その後、宇宙開発事業団（現JAXA）に入社します。このように書く、山崎さんはエリート街道を歩んできたように聞こえます。しかし、この本を読むと、数々の苦悩や過酷な訓練を経てようやく宇宙飛行士という自分の夢をつかんだことが分かります。宇宙飛行士を意識するようになったきっかけや生い立ち、さらに結婚後の苦悩やサバイバル訓練のことなど、メディアがあまり取り上げなかった事実がたくさん書かれてあります。皆さんもこの本を読んで、自分の夢に近づく努力をしましょう！

●角川書店  
角川グループパブリッシング



千葉黎明高等学校 校長  
天野 隆司

2009年に『黎明がお薦めする50冊』を発刊して早3年が経ちました。校長職も6年目となりました。また、本年は、おかげさまで学校創立90周年を迎え、『より魅力ある学校』への飛躍の年と考えています。先ず、大きな節目の年に、第二号を発刊できることをとても嬉しく思います。『校長のお薦め本』は、

生徒が読書の大切さを知るきっかけを提供することを目的に始めました。また『校長のお薦め本』は、本校のホームページにも掲載しており、保護者の方からもご好評をいただいています。高校生向けの本を毎月選定することは、幾分骨の折れることではありますが、反面私の読書量も増加し、楽しみも増えました。今回のVol.2も私と図書部の先生方で毎月選んだ50冊の本をまとめたものです。

さて、東日本大震災から1年半が過ぎようとしています。亡くなられた方及び行方不明者は二万人超、仮設住宅などで避難生活を送る方は三十四万人以上います。また、東京電力福島第一原子力発電所の事故は、未だ収束の目途が立っておらず、本格的な復興への道筋は見えません。しかし、被災地の人達は、家族、家、仕事、学校など大切なものを失いながらも、未来を信じて頑張っています。このような状況の中、日本復興の為、未来、日本の力、生徒の力を信じて日本が一つになり、もう一度世界で最も安全、安心で、美しく元気な日本を復活させたいと思います。今回の50冊の中には、震災をテーマにしたものも含まれています。

ところで、なぜ読書が大切なのでしょうか。その理由は、私は二つあると考えます。

一つ目は、考える力、コミュニケーション能力、集中力が身に付くということです。人間が何かを考える時は、必ず言葉を使って考えます。従って、知っている言葉が少なかったり、言葉の正確な意味を知らなかったりすると、考えることや正確なコミュニケーションが出来なくなってしまいます。ある言葉に出会いそれが文章の中でどのように使われているかを見るチャンスが多ければ多いほど、その言葉を知り理解し使えるようになります。植物の成長には光と水が必要であり、また人間の体の成長には栄養が必要であるように、人間のこころや精神の成長にも栄養が必要です。それが、読書です。人間は言葉を浴びて成長します。

二つ目は、色々な経験ができるということです。人間が成長する時、人との出会いや経験がとても重要です。しかし、実際に経験する機会は限られていますので、読書を通じた経験は非常に重要です。読書を通じて、自宅や学校に居ながらにして、ある時は自由に空間を移動し、日本だけでなく海外まで旅行できますし、ある時は、過去や未来にタイムスリップできますし、ある時は本の主人公となることでいろいろな職業体験や様々な人との出会いもできます。以上のことから忙しい一日の中で僅かでも良いと思います。是非読書の時間を見つけていただきたいと思います。

最後にこの冊子をご覧になられた方に読書の大切さや楽しさを再発見するきっかけを提供できましたら幸いです。

以上

## 「ソウル・サーファー」

ベサニー・ハミルトン著



●エムオン・エンタテインメント

図書部のお薦め本はベサニー・ハミルトン著『ソウル・サーファー』です。ベサニーは有名な13歳の女子サーファー。ハワイ・カウアイ島、2003年10月31日、運命のその日はいつものように静かに始まりました。そしてそれはなんの前触れもなく突然やってきました。ベサニーは早朝のサーフィンの練習中に、いきなり左腕を巨大なサメに食いちぎられてしまったのです。「すべてが終わるまでは、ほんの数秒だった。覚えているのは、自分の血で、まわりの水が鮮やかな赤に染まったこと。それから、ほとんど肩の位置まで食いちぎられた自分の腕が見えた……」直後にも冷静さを失わなかったベサニーは岸から400メートルも離れていたにもかかわらず奇跡的に助かります。そして事故から1ヶ月後にはサーフィンを再開し、トーナメントにも復帰して上位入賞を果たし復活します。ベサニーは言います「誰かが希望を見出す手助けができるなら、私が腕を失った価値はあったと思う」と。生きることをあきらめなかった少女の感動の実話です。

## 「結果を出し続けるために」

羽生 善治著

今月の図書部のお薦め本は羽生善治著『結果を出し続けるために』です。名人戦など全7タイトル戦のうち6つで永世称号の資格を保持している羽生さん。今なお、将棋という勝負の世界で、数々の記録を塗り替え続けているのは驚くばかりです。なぜ羽生さんはこのように良い結果を残し続けることができるのでしょうか。この本の中に、その優れたものの考え方が素直に表現されています。今の時代を懸命に生きる皆さんに是非読んでいただきたい1冊です。



●日本実業出版社

本校は、1923年3月23日に創立されて以来、今年度で創立90周年を迎えます。



# おかげさまで 創立90周年

- 1923年 (大正12年) 実業学校令により、乙種農業学校として財団法人八街農林学園創立に認可を受ける
- 1924年 日本で最初のスクールバンドが編成される 生徒館(講堂)竣工
- 1925年 高橋是清が来校
- 1926年 高橋是清が来校
- 1929年 財団法人八街農林学園を学校法人八街農林学園と改める
- 1975年 創立者 西村繁先生銅像建立
- 1979年 校舎増築増築
- 1989年 特別教室棟竣工。普通科、農業科共に男女共学になる
- 1993年 農業科を園芸科に改編
- 1995年 八街学園高等学校を千葉黎明高等学校に変更
- 2003年 学校創立70周年記念式典実施  
学校創立80周年記念式典実施  
創立80周年記念 人工芝多目的グラウンド「Turf Court」竣工  
大正13年竣工の生徒館改修完了
- 2004年 アーチェリー部 全国高等学校総合体育大会 優勝  
全天候型ランニングロード竣工  
野球場ブルベン竣工
- 2006年 特別進学クラスを特別進学コースに変更  
陸上競技部 インターハイ初出場
- 2007年 教室棟1階女子トイレを改修し更衣室と給湯設備  
男子ソフトテニス部 インターハイ初出場
- 2008年 「栄光の軌跡」石碑竣工  
野球部・男女ソフトテニス部部室新築  
ランニングロード改修4レーン化  
西村は一奨学育英基金  
吹奏楽部 日本管楽合奏コンテスト初出場
- 2009年 空手道部 全国高等学校選抜空手道大会 準優勝  
吹奏楽部 東関東吹奏楽コンクール初出場
- 2010年 管理棟改修  
黎明バストラルホール・黎明ドリームステージ  
総合職員室完成  
吹奏楽部 東日本吹奏楽大会 初出場  
工学部 鈴鹿サーキット ENJOY1クラス優勝
- 2011年 男子ソフトテニス部 全国高等学校選抜大会初出場  
教室棟改修。一般教室と廊下のパーテーション(壁)  
黎明オリエントルーム・黎明オーロラデッキ完成
- 2012年 本校、創立90周年イヤール(記念事業実施)  
全教室、エアコン完備・照明工事  
ランニングロード(1週1.2km)完成予定  
総合打撃練習場完成予定 サッカー部室完成



## 創立90周年記念事業 実施項目

1. 「創立90周年式典」11月17日(土)
2. 「特別記念講演会」10月17日(水)
3. 「生徒館を歴史的建造物として保存」
4. 「安全と平和の記念碑建立」
5. 「教育施設の充実」
6. 「記念誌編纂」
7. 「黎明音楽祭」平成25年3月21日(水)



**祝** **八街市 市制施行 20周年** **おかげさまで千葉黎明高等学校 創立90周年**  
千葉黎明高等学校は強くて、しなやかで進歩する地域密着・貢献型の学校を目指します

黎明がお薦めする50冊 V.O.L. 2 (非売品)

平成24年8月25日 発行

編集 千葉黎明高等学校「黎明がお薦めする50冊」編集委員会

校長 天野隆司

図書部 (50音順)

- 市成 直広 北 益嘉
- 小林 明矢 中野 茂子
- 野原 正章 遊佐 誠一

事務部

白根 真人

発行 学校法人 千葉黎明高等学校

理事長 西村 清

印刷 株式会社 豊文堂